

藤枝市オープンイノベーション推進事業

令和3年度独居高齢者等の災害情報伝達及び見守り実証実験

(実績報告書)

2022年4月20日

株式会社アイティ・イニシアティブ
株式会社クレバーラクーン

「独居高齢者の見守り・災害情報等伝達」にかかる実証実験について

主目的

土砂災害警戒区域に居住する「スマホを持たない独居高齢者等」を対象にした個別受信器による災害情報伝達・見守り（安否確認）等の検証

(1)災害情報伝達

- ①対象
 - ・ スマホを持たない人
 - ・ 独居高齢者または老々世帯
 - ・ 土砂災害警戒区域に住んでいる人

②検証事項

- ・ 一斉配信システムからの情報受信（セグメント配信含む）ができるか
- ・ 確実に情報が伝達できるか
 - 情報を受信した市民側の分かりやすさ・使いやすさ
 - 情報到達率・受信感度等の検証

株式会社アイティ・イニシアティブ会社概要

- 商号 株式会社アイティ・イニシアティブ(通称:アイティアイ)
- 本社 静岡県三島市文教町1-7-22 (三島駅徒歩1分)
- 事業所 三島本社・東京・清水町・静岡・大阪・福岡
- 設立年月日 2002年3月6日
- 資本金 1,000万
- 従業員 70名(2022年4月現在) パートナー40名
- 主な事業 コンピュータソフト開発及び販売
コンピュータ及び機器の販売・保守管理



※株式会社シードのグループ会社として、2002年に三島市に誕生しました。
静岡県の医療特区ファルマバレープロジェクトの推進と維持管理にむけた取り組みをはじめ、医療と公共の発展に努めております。
静岡県内の実績については、静岡県商工振興課のヘルスケアアプリ開発、AOIプロジェクトの基盤作成事業等に参加しております。
災害時の安否確認システムにも力を入れ、東南海地震の災害減債を目指しております。

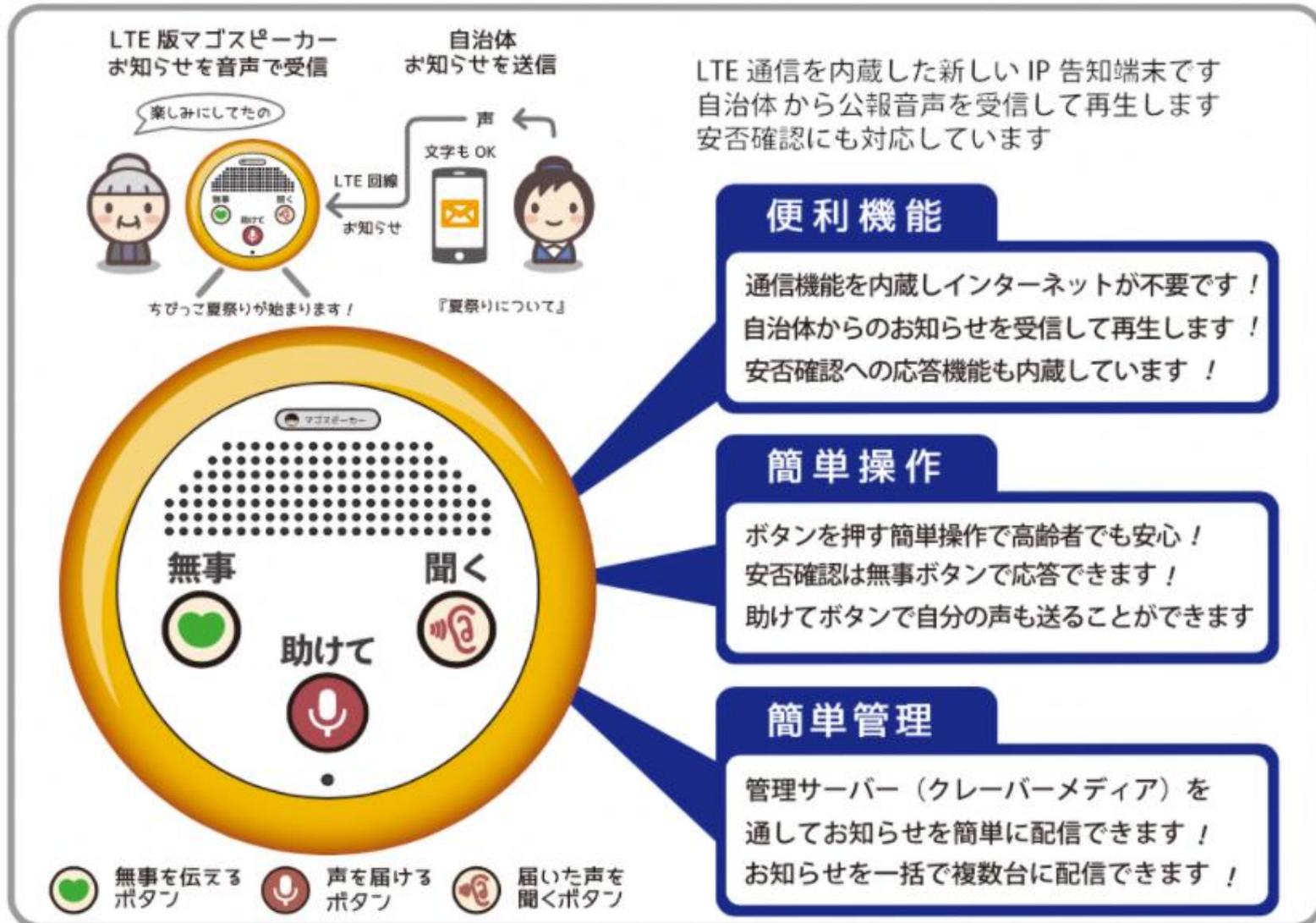
- 商号 株式会社クレバーラクーン(Clever Racoon Corporation)
- 本社 〒304-0056 茨城県下妻市長塚264-2
- 設立年月日 令和02(2020)年04月01日
- 資本金 800万
- 主な事業 情報通信技術の企画・開発・販売、
ホテル・リゾート施設の企画・開発・運営など

※弊社は、安心・安全で災害に強いレジリエントな社会の実現を目指します。

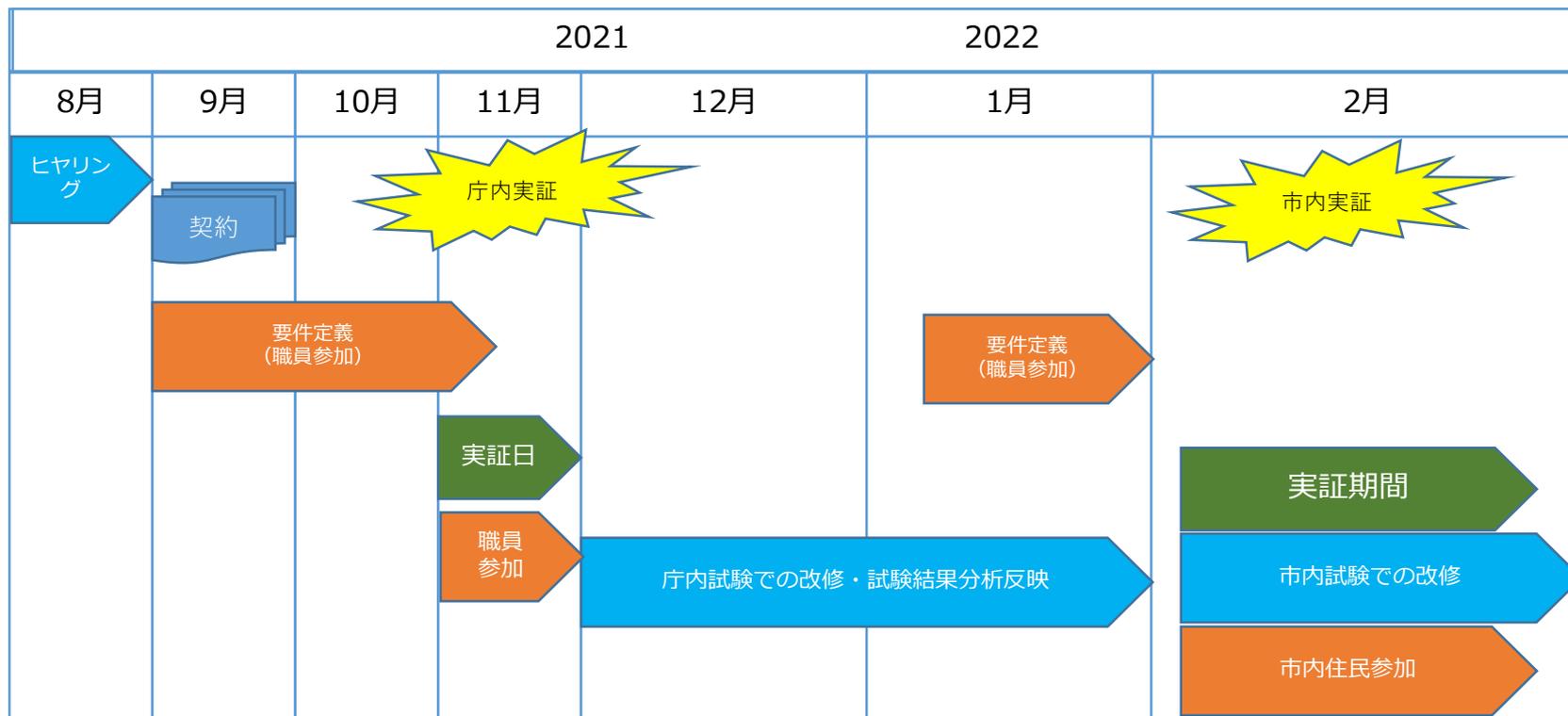
そのためには、地域や職種等の垣根を越えた、取り組みが必要であると考えます。
クレバーラクーンは、世の中に散らばる様々なツールやテクノロジー、アイデアを
組み合わせることで、安心・安全で災害に強い情報技術とそれを活用する社会
の仕組みを作ります。

今回の実証実験では、災害広報システム「クレバーメディア®」の高齢者専用端末
「マゴスピーカー」を導入いたしました。

株式会社クレバーラクション マゴスピーカイメージ



実証実験スケジュール（庁内・市内）



- 8月中にヒヤリングを行う。
- 9月～10月で、実証要件を纏める。
- 実証は、庁内は、11月26日、マゴスピーカー 6 個にて各課意見聴取
実機にて、マゴスピーカーの機能確認、各課での利用イメージを確認
- 実証は、市内は、2月7日～18日 10 軒（マゴスピーカー10個）、職員確認用
（マゴスピーカー 2 個）
高齢住民を対象にマゴスピーカーの操作確認や音声、通信を確認する

実証実験の庁内実験（職員で利用確認）

1. 日時： 2021年11月26日（金） 10：00-12：00

2. 参加者： 藤枝市役所 （情報デジタル推進課・大規模災害対策課
地域防災課・河川課・地域包括ケア推進課・自立支援課）
株式会社アイティ・イニシアティブ
株式会社クレバーラクーン

3. 実験内容：①すぐメールPlusからの情報発信
即時配信を確認、配信日時がわかりにくい等、課題あり
②管理画面からの情報発信
即時配信確認、履歴がわかりにくい等、課題あり
③マゴスピーカーからの緊急連絡
録音操作がしにくい等、課題あり

実証実験の庁内実験（庁内実験まとめ）

1. 庁内テストの課題解決にむけて機能変更

○録音機能の簡易化で、わかりやすくしました。

「助けて」ボタン押下で、「ピーとなったらお話ください」となりますので、何回も押下することがなくなりました。

○管理画面からの送信機能を拡張しました。

送信時のタイマー起動追加

送信時の配信グループ選択

○個別情報が入力・安否表示されるようになりました。

（対象者・性別・生年月日・住所など）

○Gmail等の携帯メールが未達の件の対応

スパム対策用の設定を行った

実証実験の市内実験（市民の皆様にご利用してもらう）

1. 日時： 2022年2月7日～2月18日
2. 対象者： 瀬戸谷地区 5名、岡部地区 5名 職員用 2名
3. 実証検証：
 - （1）災害情報の伝達
 - （2）見守り機能の確認
 - （3）使いやすさ※職員は、夜間の聞きやすさなど検証
4. その他：

配布物：マゴスピーカー・アンケート

対象者へのマゴスピーカー配布は、職員にて行いました

市内テスト4：アンケート（回答）

1. 市内テスト4：モニター10名（年齢層60歳～90歳）

- ・操作性の項目については、いずれも80～90%の方が「わかりやすい」「問題なく操作できた」と回答しており、高齢者にとってもわかりやすいシンプルなデバイスであると言える
- ・聞こえやすさについては、10名全てが「よく聞こえた」と回答、音量調節についても9名は「問題ない」
1名は「もっと小さい音がほしい」と答えたことから、音量が小さい等の理由で聞き取りにくいことはないと言える
- ・実験の内容について説明不足や理解不足との回答もあるが、それでも実験を進めて回答したり操作できたりすることから高齢者の認知が劣ってきても傍で情報伝達の目的を達成することができると思う

実証実験の市内実験（まとめ）

1. 市内テストからの課題対応を行いました

- 管理画面にて送信予約済を確認できるようになりました。
- 管理画面にて全ての履歴が表示されるようになりました

2. 今後機能拡張や修正を検討する内容

- 一斉メール配信の履歴・安否確認一覧との複合履歴表示検討
- 救助要請録音のメール転送やWeb確認を検討

※実証実験を終えて、社会実装にむけての機能改善をすすめていきます
また安否確認・見守り・医療・介護などの分野で活用方法を提案します